

【証券コード:6728】

中間決算説明会 (2008年6月期)

2008年2月18日

株式会社 アルバック

1

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ (FPD)・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

■ 質的転換を迎える2008年

代表取締役会長 中村久三

■ 08年6月期(中)業績概要

■ 08年6月期通期見通し

代表取締役社長 諏訪秀則

質的転換を迎える2008年

■ 2007年の状況

- ▶ FPD分野はほぼ1年間、設備投資が大幅に停滞。極めて困難な状況。
- ▶ 半導体、電子部品分野は堅調を維持。

■ 2008年の特徴

- ▶ FPD分野で大型の設備投資が再開。
- ▶ 太陽電池、LED、ターゲット材料など「ポストFPD」の新しい分野が成長。

◆ アルバックは大きく成長できる年。

- ▶ あらゆる分野で既存の技術が限界。

◆ 質的転換(イノベーション)を必要とする時期

2008年は質的転換の年

■ 既存分野

▶ 液晶ディスプレイ

◆ 2倍速と大画面化で高モビリティ(移動度)TFTとCu配線。

▶ 半導体

◆ Cu配線の更なる微細化。微細化のための新成膜法の開発

◆ フラッシュメモリは高性能ゲート絶縁膜の開発。

◆ 不揮発メモリの開発が活発。

■ ポストFPD分野

▶ エネルギー・環境

◆ 太陽電池:

a-Si薄膜系、Si結晶系、CIGS薄膜系など各種太陽電池の設備投資が全世界でかつてない規模で展開。
変換効率アップとコストダウンの質的転換。

◆ ハイブリッド・カー:

パワー半導体、コンデンサ、永久磁石、二次電池等で画期的な技術開発が必要。

2008年は質的転換の年

■ ポストFPD分野

▶ LED

- ◆ 液晶用バックライト、照明で大きなマーケットが形成。
特にコストダウンの点で質的転換。

▶ ハイブリッドモジュール技術

- ◆ 高密度実装、イメージセンサ、タッチパネル等の技術が大きく発展

▶ レアメタルの資源確保が困難

- ◆ 省資源技術とリサイクル技術が必要。

今までの延長線上でなく独創的な技術開発が必要

- ◆ 数年前から「ポストFPD戦略」として取り組み。
- ◆ 今までの努力を完成させ事業として実現させる年

人のまねをしない、アルバックだけができる独創的な
最先端技術を完成させ、「ポストFPD」分野で世界トップへ

■ 質的転換を迎える2008年

代表取締役会長 中村久三

■ 08年6月期(中)業績概要

■ 08年6月期通期見通し

代表取締役社長 諏訪秀則

08/6期(中)のまとめ

■ 受注

- ▶ FPD関連は液晶を中心に設備投資が再開したが、発注時期がずれ、第3四半期に集中。
- ▶ ポストFPDの太陽電池、パワー半導体、LED、ハイブリッド・カー関連の受注堅調。

低迷状態から上昇に転じる

■ 売上

- ▶ 第2四半期から下期へ期ずれと受注減で売上計画未達。
 - ◆ 液晶ディスプレイ、産業機器関連の売上が下期に期ずれ。
 - ◆ 材料関連は一部客先認証の遅れなどで受注・売上減。
 - ◆ 半導体装置は、前倒しで計画を上回る。

■ 業績

利益は、期ずれ要因とコンポーネント、その他装置及び
その他事業(材料、制御、分析関連)の利益率低下が影響

08/6期(中)実績

【単位:億円】

	07/6期(中)	08/6期(中)		前年同期比 (増減率)
		期初予想	実績	
受注高	1,452	1,380	1,162 (-16%)	-20%
売上高	1,213	1,320	1,167 (-12%)	-4%
営業利益	106	64	37 (-43%)	-66%
経常利益	111	55	24 (-57%)	-79%
中間純利益	48	23	23 (+0%)	-52%

■製造固定費配賦の方法の見直し

- ▶営業利益、経常利益が482百万円増加。
- ▶過年度の製造固定費配賦差額2,605百万円を特別利益に計上。

注) ()内は期初予想比、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

品目別売上高の実績

【単位：億円】

品目	07/6期 (中)	08/6期(中)				
		期初予想	実績		主な変動要因	
			売上高	予想比 (増減率)		
真空関連事業	ディスプレイ及び電子部品製造装置	655	658	583	-11%	液晶などFPD関連が下期に期ずれ。
	半導体製造装置	177	157	185	18%	フラッシュ、DRAMなど積極投資で上ぶれ。
	コンポーネント	129	144	128	-11%	FPD関連投資延期でポンプ受注低迷で売上減。
	その他	100	133	77	-42%	産業機器関連の真空炉などで下期に期ずれ
その他の事業	152	228	194	-15%	材料関連が受注減。制御・分析関連が下期に期ずれ。	
合計	1,213	1,320	1,167	-12%		

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

連結貸借対照表(資産の部)

【単位:億円】

	07/6(中) (参考)	07/6	08/6(中)	増 減
流動資産	2,027	2,079	2,012	△ 67
固定資産	982	1,097	1,148	51
有形固定資産	705	818	930	112
無形固定資産	36	38	35	△ 3
投資その他の資産	241	241	183	△ 58
資産合計	3,009	3,176	3,160	△ 16

資産の部: 16億円減

流動資産: 67億円減

◆たな卸し資産 82億円減(受注減や大型物件売上増による)

固定資産: 51億円増

◆有形固定資産 112億円増(事業拡大のための設備投資を実施。
シグマテクノス、当社茅ヶ崎工場、
研究開発設備など)

◆投資その他の資産 58億円減(新規連結による減少)

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

【単位:億円】

	07/6(中) (参考)	07/6	08/6(中)	増減
(負債の部)				
流動負債	1,702	1,695	1,674	△ 21
固定負債	397	537	560	23
負債合計	2,099	2,232	2,234	2
(純資産の部)				
純資産合計	910	944	926	△ 18
負債及び純資産合計	3,009	3,176	3,160	△ 16

負債の部 : 2億円増

◆支払手形及び買掛金

203億円減(買掛金減少などによる)

◆前受金

76億円減(韓国での受注減などによる)

◆借入金(短・長期)

330億円増(運転資金増加などによる)

純資産の部: 18億円減

◆中間純利益

23億円計上

◆配当金

20億円支払い

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

主な新設工場、新拠点の設立[08/6(中)]

中国

■ アルバック商貿北京分公司設立



◆ 2007年10月開所
(北京市)

・販売・カスタマーサポート拠点新設

日本

■ アルバック東北 加工センター



◆ 2007年10月竣工
(青森県八戸市)
・G10対応大型部品
製作工場増設

■ シグマ テクノス新工場



◆ 2007年7月竣工
(埼玉県日高市)
・精密ステージなどFPD製造
装置工場新設

- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設

■ 質的転換を迎える2008年

代表取締役会長 中村久三

■ 08年6月期(中)業績概要

■ 08年6月期通期見通し

代表取締役社長 諏訪秀則

経営環境

■ ポジティブ要因

- ▶ 液晶ディスプレイは日本、台湾、韓国で相次いで投資再開
- ▶ ポストFPD関連の引合い・受注活発化

◆ 太陽電池

- a-Si薄膜系：アジアで継続的に設備投資活発化
- 化合物系（CIGSなど）：欧米中心に引き合い増加

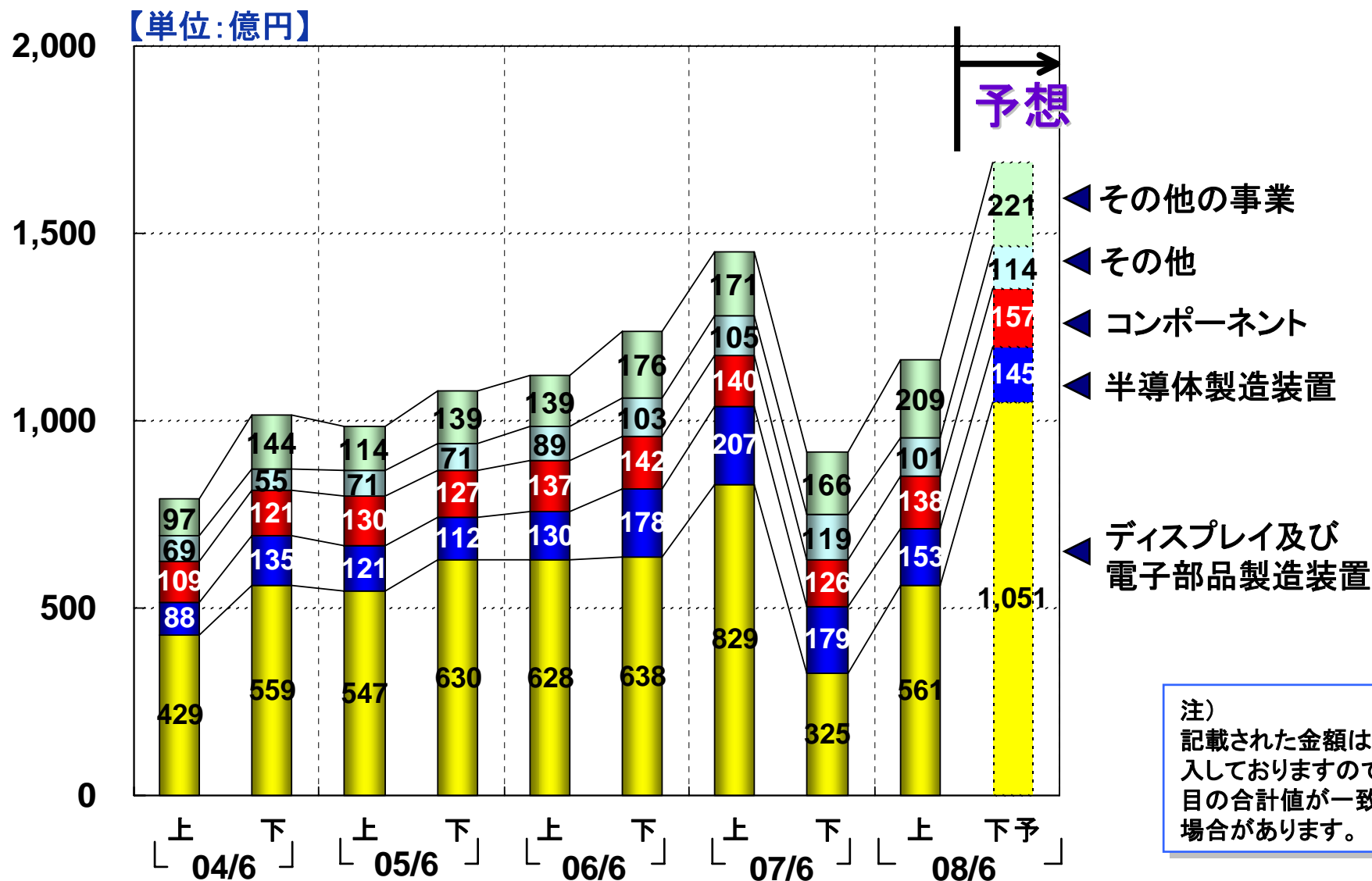
◆ 化合物半導体はLEDの需要増で設備投資活発化

◆ パワー半導体は車載、家電用途として設備投資加速

■ ネガティブ要因

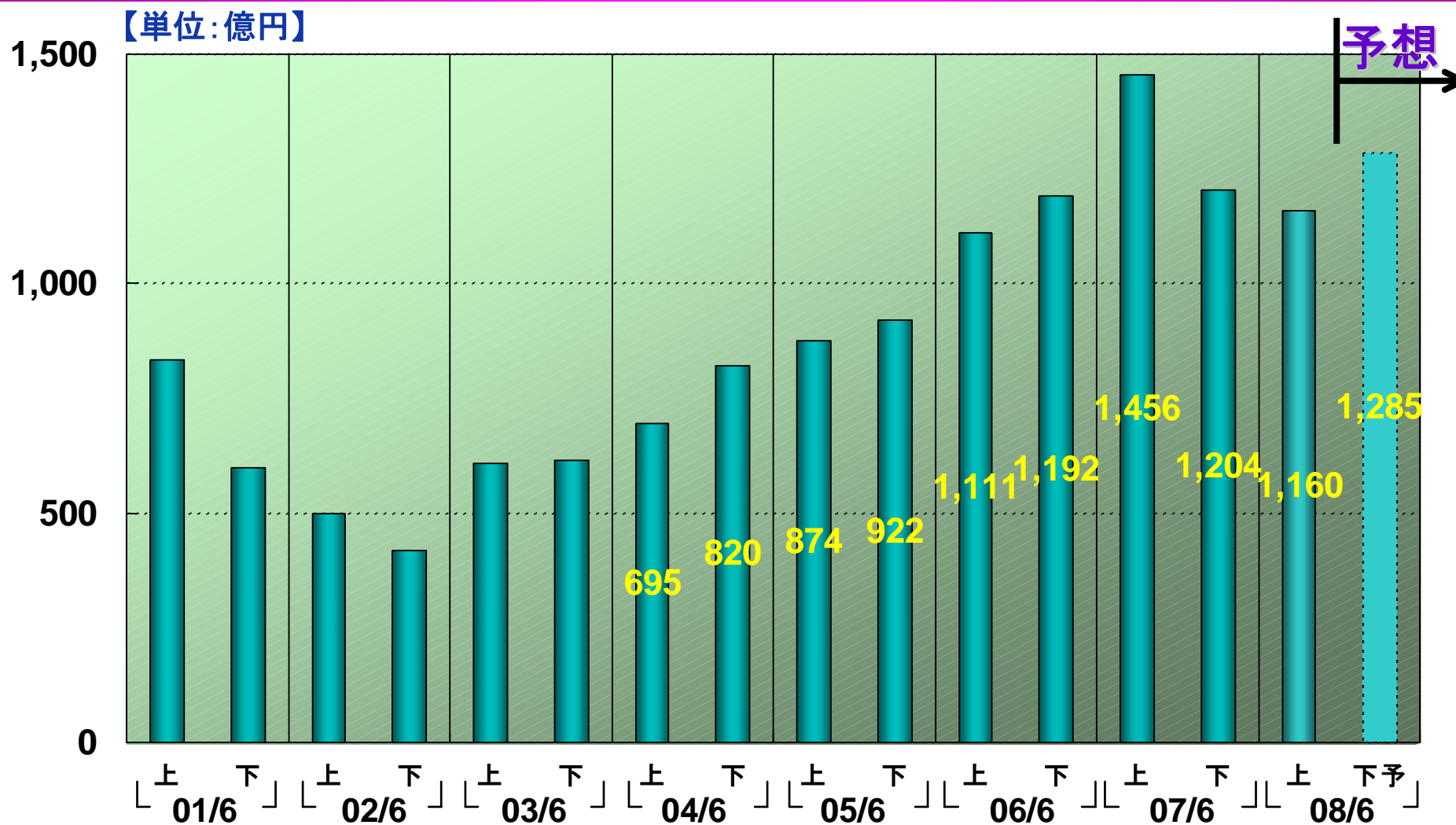
- ▶ フラッシュメモリ、DRAMの設備投資が減速
- ▶ 継続的な価格プレッシャーと材料費高騰が深刻化

品目別受注高推移・予想



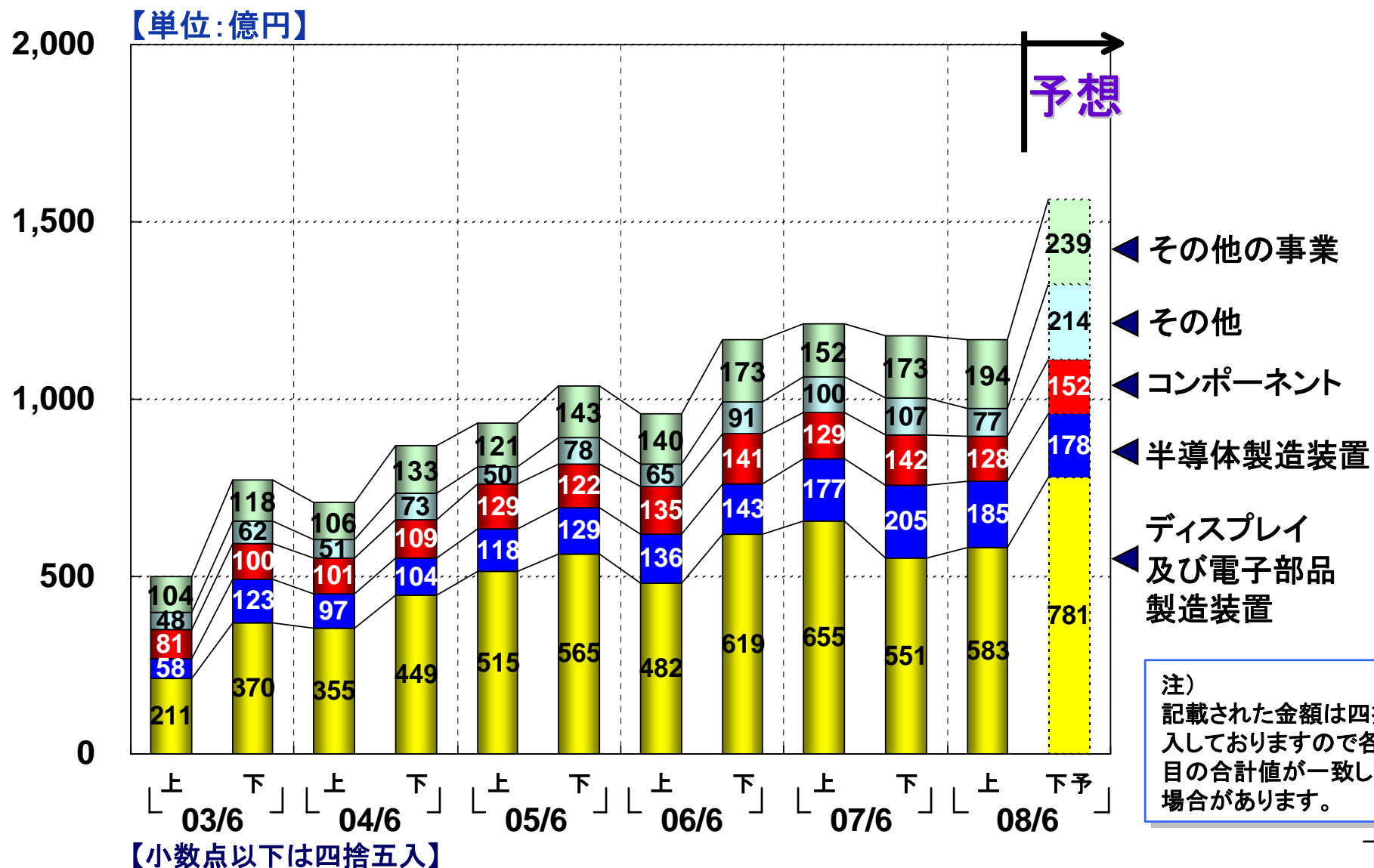
【小数点以下は四捨五入】

受注残高推移・予想

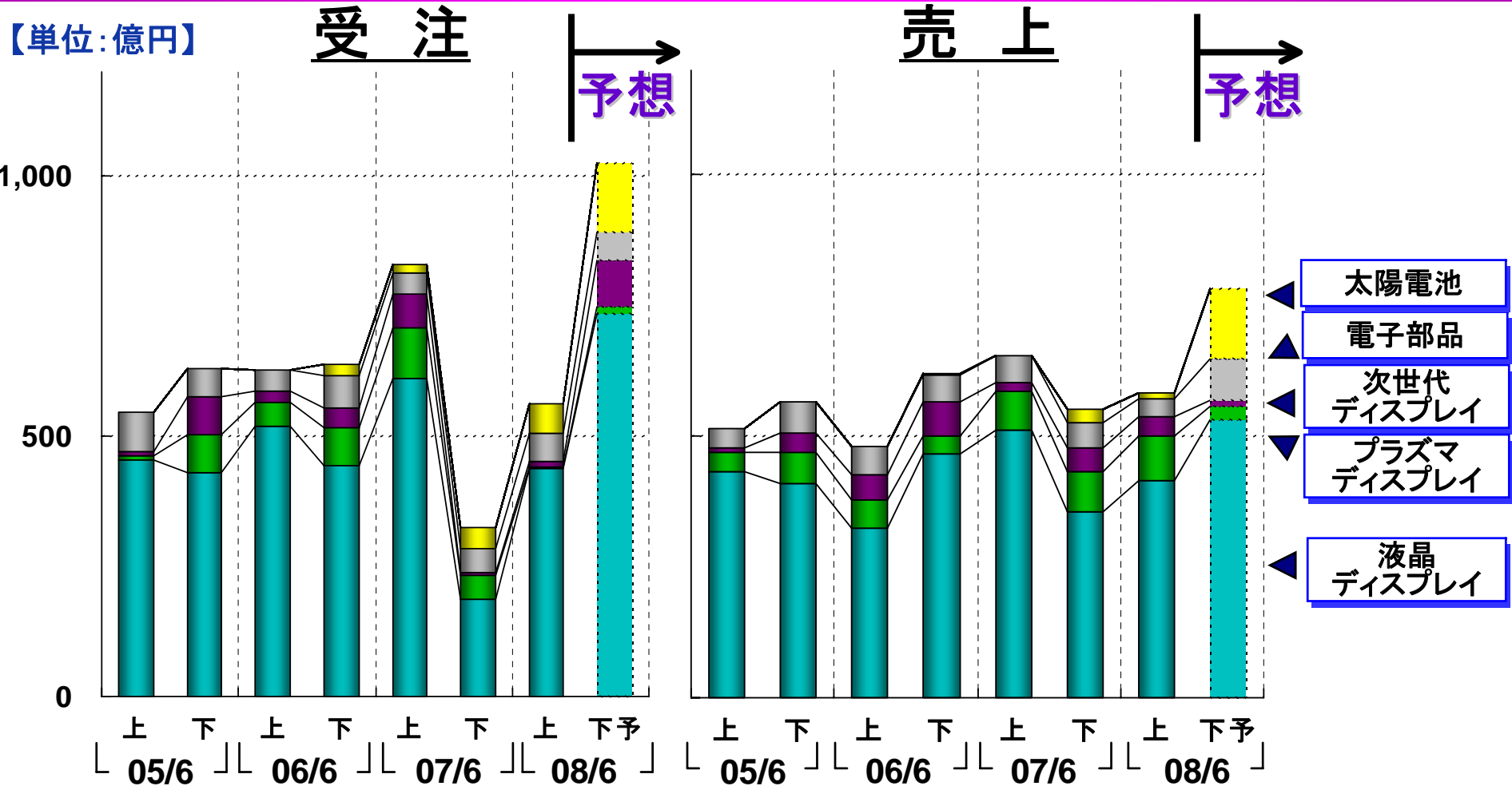


【小数点以下は四捨五入】

品目別売上高推移・予想



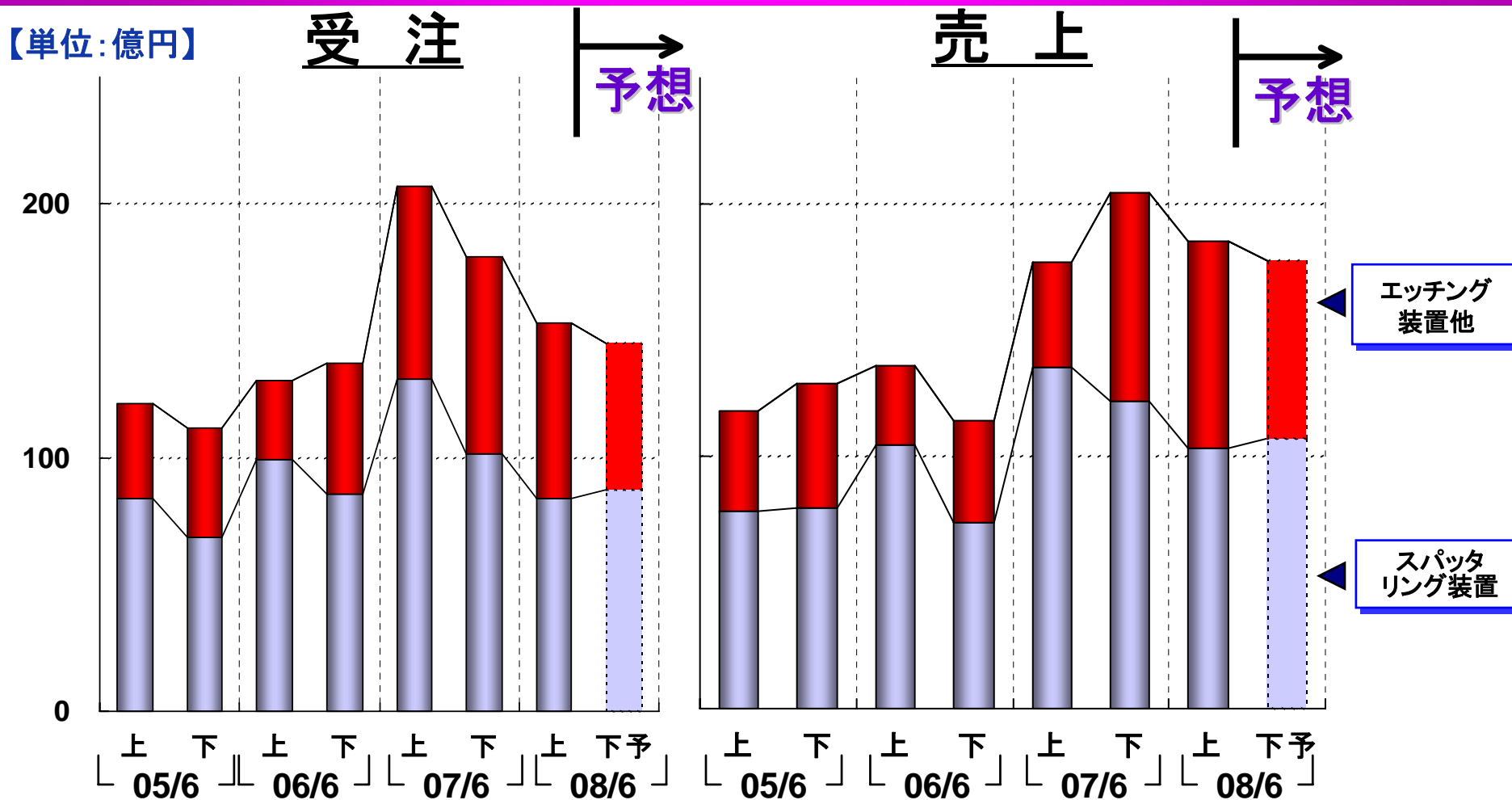
ディスプレイ及び電子部品製造装置の推移・予想



足元の受注環境

- ◆ 日本、韓国、台湾を中心に液晶ディスプレイの設備投資が急回復。
- ◆ アジア中心に太陽電池(薄膜系、結晶系)の受注増を見込む。
- ◆ 有機ELなどは下期に受注を見込む。

半導体製造装置の推移・予想

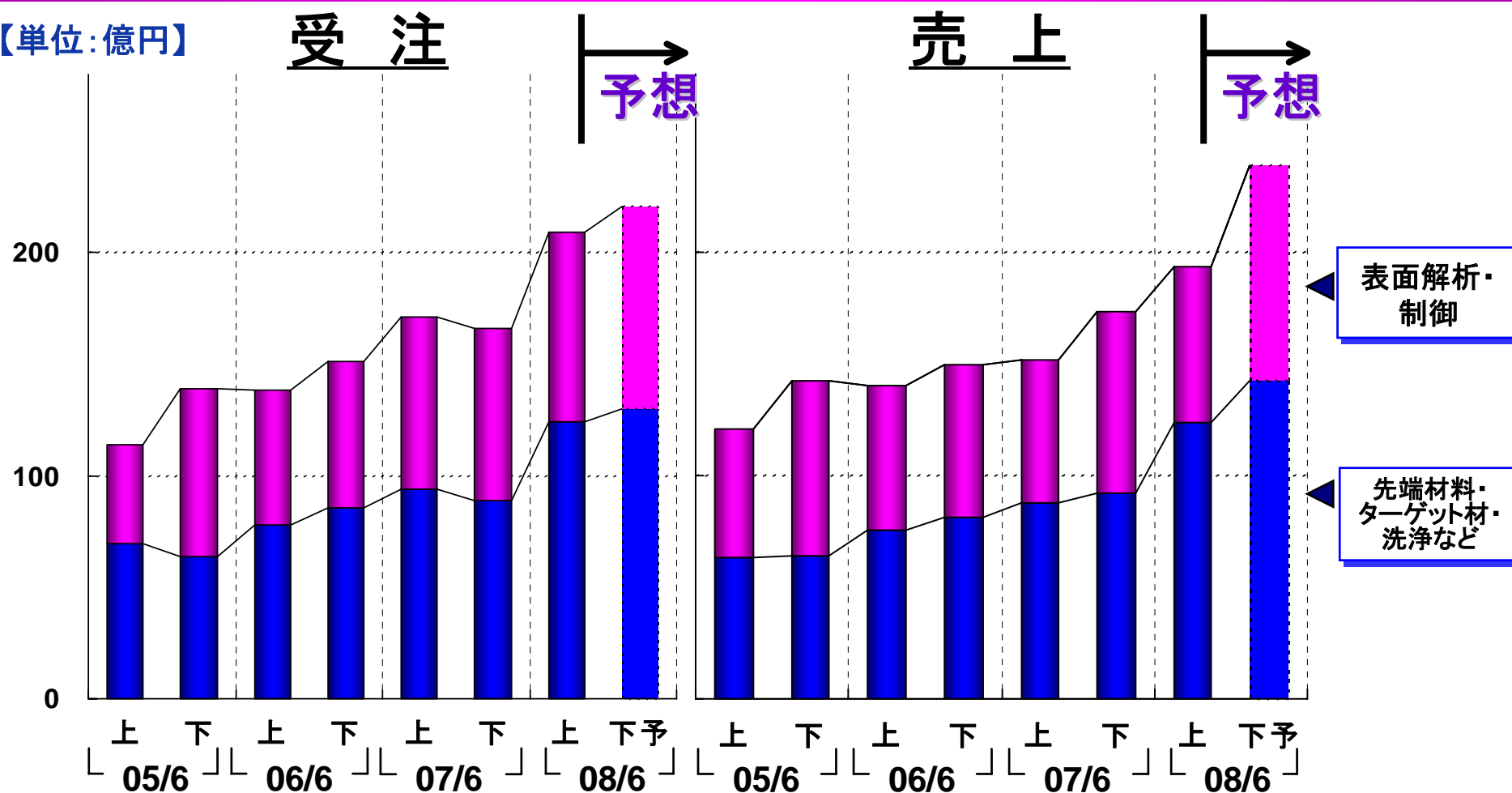


足元の受注環境

- ◆DRAM、フラッシュメモリ関連のスパッタ、自然酸化膜除去装置の減少を見込む。
- ◆エネルギー・デバイスのパワー半導体、LED、イメージセンサー、MEMSなど引合い・受注増を見込む。

その他の事業の推移・予想

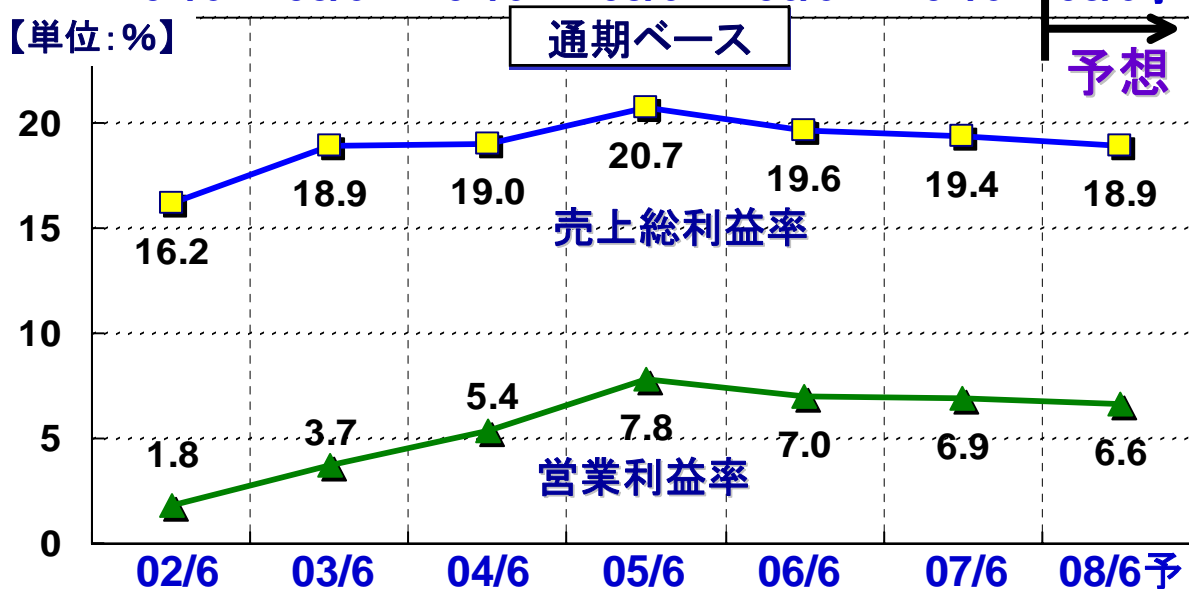
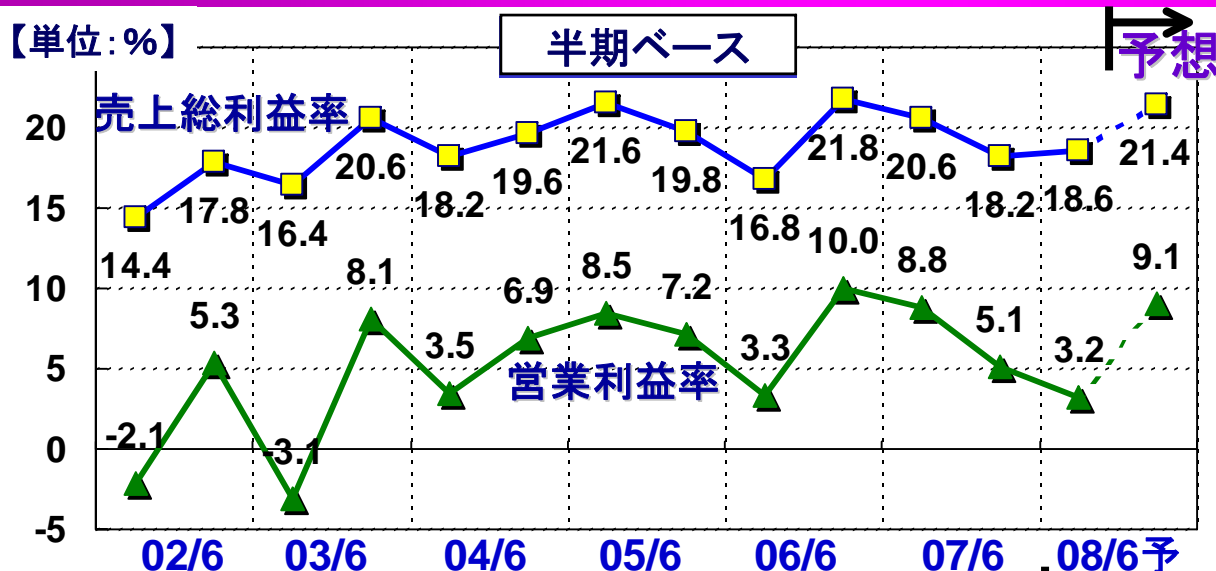
【単位：億円】



足元の受注環境

- ◆ FPD製造装置向け大型ターゲット材や装置部品の洗浄ビジネスの増加を見込む。制御システム関連は、金属、自動車関連で受注堅調。

利益率の推移・予想



【小数点以下第2位は四捨五入】

08/6期予想

上期分析

- ◆ FPD、一般産業機器関連、制御、分析などその他の事業の売上が下期に期ずれで利益率低下
- ◆ 収益性の高い半導体製造装置が上ぶれで利益下支え

下期予想

- ◆ 期ずれ物件が売上。
- ◆ 大型液晶ディスプレイ用スパッタなどでコストダウン
- ◆ 半導体製造装置の売上減で利益率低下懸念
- ◆ その他装置、その他の事業の収益率アップ
- ◆ 生産改革(内製化、標準化、先行集中調達など)でコストダウン

今後の主な新設工場、新拠点

中国

- 統括管理会社(アルバックチャイナ)
- 販売・サービス会社(アルバック商貿)
- 制御盤製造 工場新設(アルバック自動化科技)



◆ 2008年4月竣工予定
(上海市)

日本

- アルバックマテリアル鹿児島工場



◆ 2008年1月竣工
(鹿児島県霧島市)

日本

- ポストFPD製造装置試作開発拠点

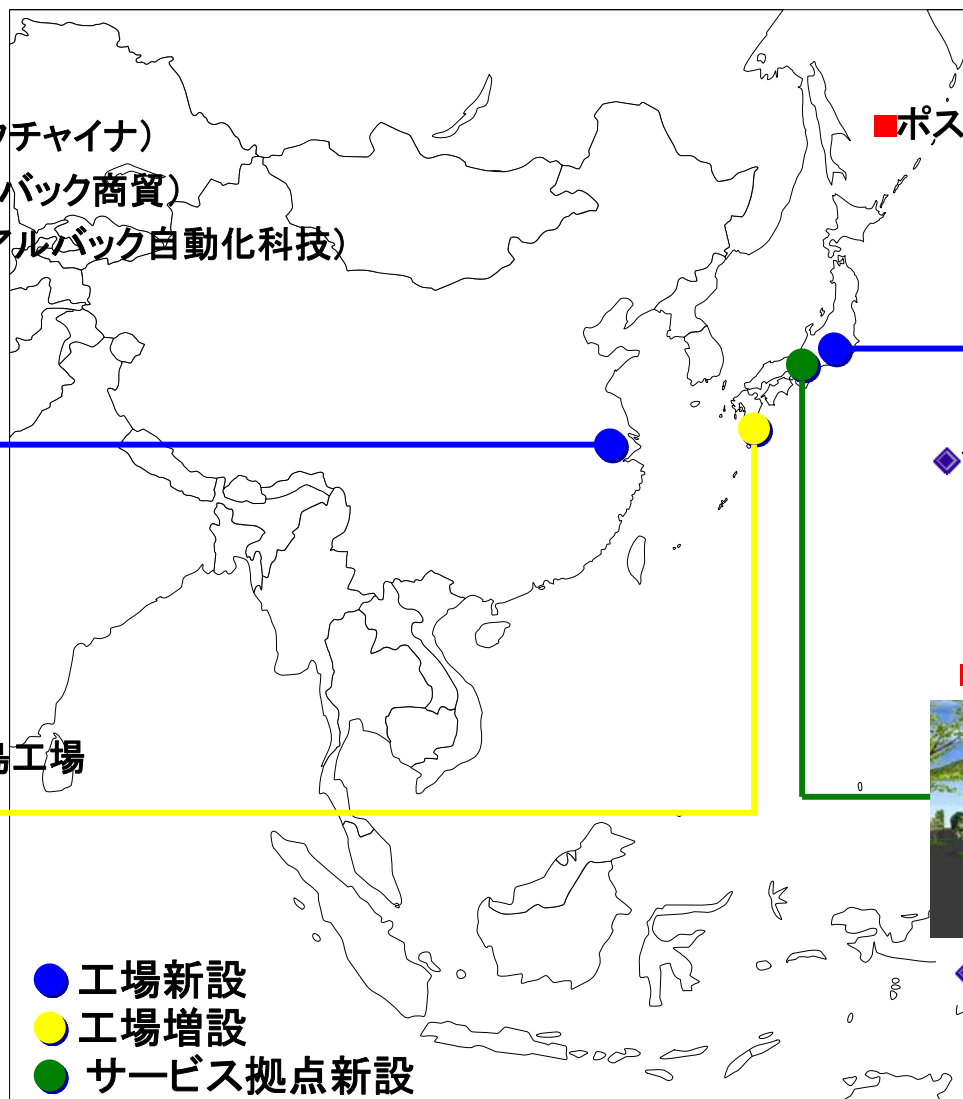


◆ 第2期: 2008年7月 竣工予定
(茅ヶ崎市)

- G10対応サポート拠点新設



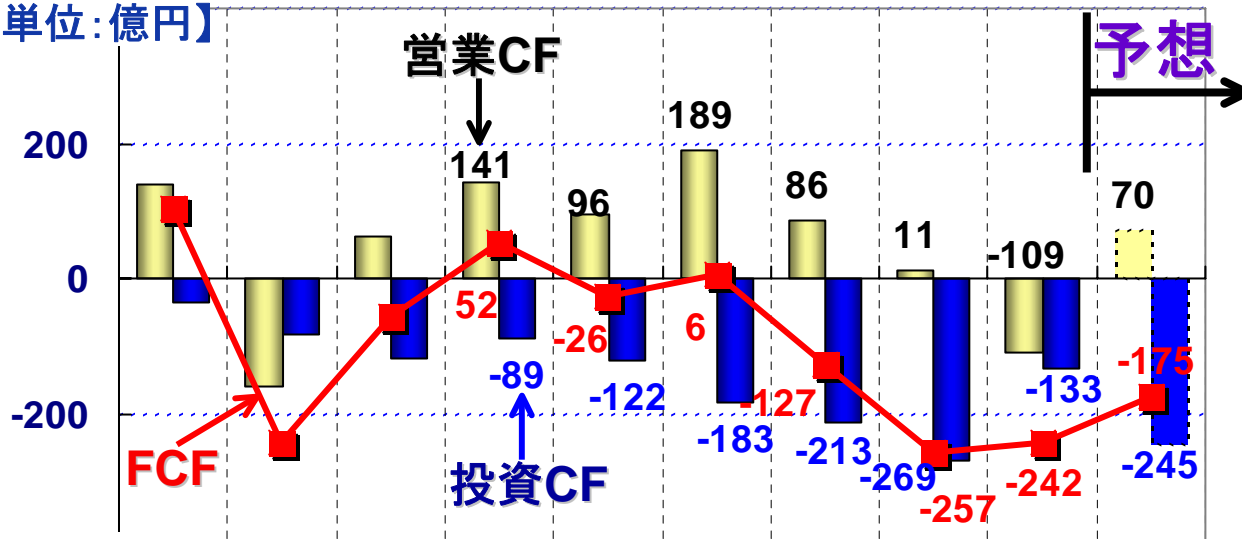
◆ 2008年12月 竣工予定
(和歌山県橋本市)



- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設

キャッシュ・フローと有利子負債の推移・予想

【単位:億円】



■ **営業CF: △109億円**

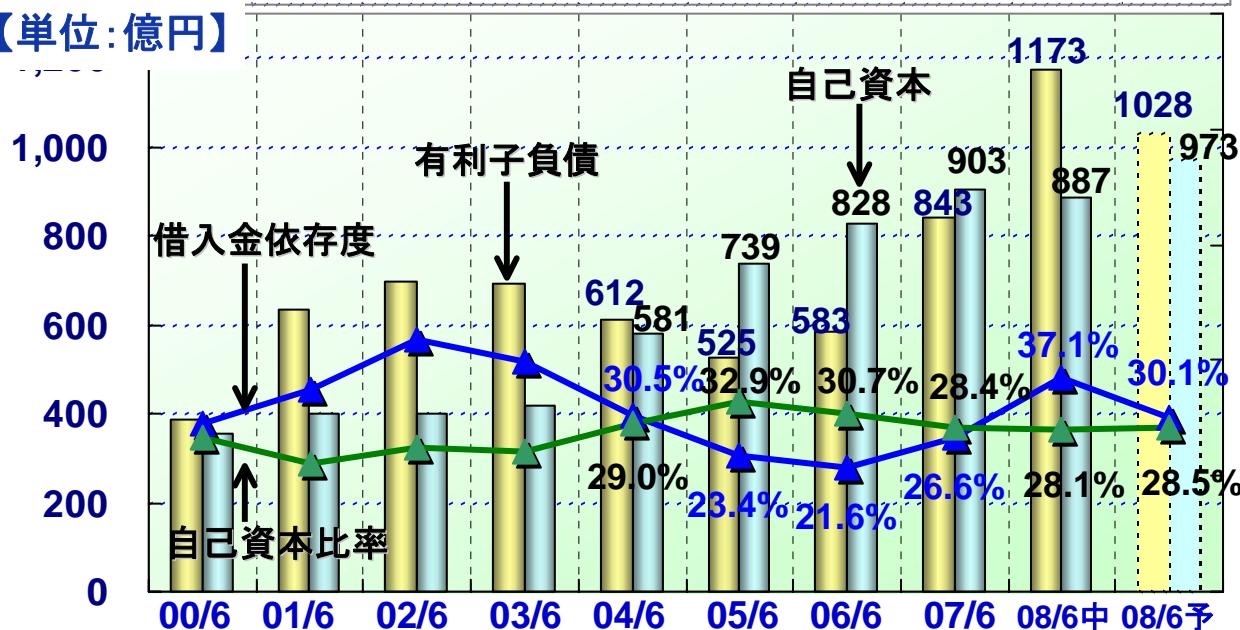
＜プラス要因＞

- ・当期純利益 46億円
- ・減価償却費 48億円
- ・たな卸資産減少 74億円

＜マイナス要因＞

- ・仕入債務減少 210億円
- ・前受金減少 57億円
- ・法人税等支払額 43億円

【単位:億円】



■ **投資CF: △133億円**

＜プラス要因＞

- ・固定資産売却等 12億円

＜マイナス要因＞

- ・工場及び設備の投資 136億円
- ・投資有価証券取得 3億円

【小数点以下第2位は四捨五入】

08/6期通期予想

通期は当初予想と変更ありません

【単位：億円】

	07/6期	08/6期(予)	前年同期比 (増減率)
受注高	2,368	2,850	+20%
売上高	2,392	2,730	+14%
営業利益	166	179	+8%
経常利益	161	166	+3%
当期純利益	73	90	+23%

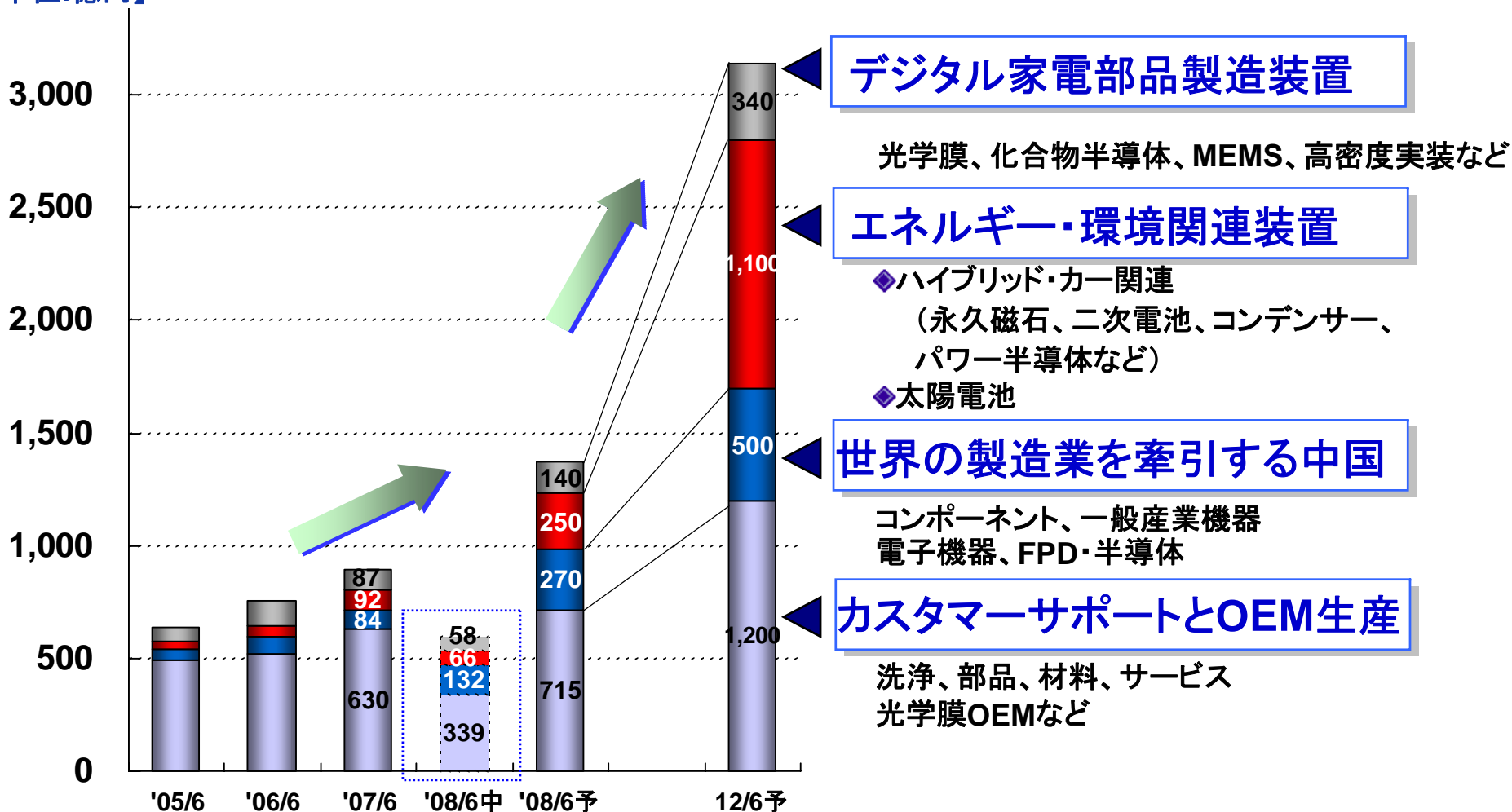
注) 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

「ポストFPD戦略」の展開について(08/6(中))

- FPDの設備投資の成長は2008年がピーク。FPDの次に成長する柱で、受注拡大。
 - ▶ デジタル家電部品(ハイブリッドモジュール)用装置
 - ◆ 次世代HDD用磁気ヘッドの作製プロセス技術を新たに開発
 - ◆ 従来比5倍の生産性を持つLED・LD向け量産専用ドライエッチング装置 NE-950を販売開始
 - ▶ エネルギー・環境関連
 - ◆ 薄膜太陽電池一貫ラインデモライン稼動開始
 - ◆ 太陽電池一貫ラインを台湾Sunner Solarより受注
 - ◆ 太陽電池一貫生産ラインで中国China SolarとStrategic Allianceを締結
 - ▶ 世界の製造業を牽引する中国
 - ◆ LEDなど電子部品用蒸着装置販売好調(アルバック蘇州)
 - ◆ 各社の品質管理体制、内部統制システムの確立中
 - ▶ カスタマーサポートとOEM生産
 - ◆ 販売・サービス会社の北京分公司開設(アルバック商貿)

ポストFPD戦略(受注目標)(進捗度)

【単位:億円】



【上記の各項目の目標受注額は一部重複して合算されています。また、目標受注額は事業規模を判断するための参考値で、当社の連結受注額に合算されない額も含まれています。】

今後の予想について(まとめ)

■08/6期下期の予想

- ▶受注: 液晶ディスプレイなど大型案件が第3四半期に集中。アジア中心に太陽電池一貫ラインの受注増。
- ▶売上: 期ずれ分などが下期売上に寄与して回復。その他の装置、その他の事業(材料・制御・分析など)の売上増に注力。
- ▶利益: その他の装置、その他の事業、コンポーネントなどの追加原価削減、コストダウンなどに注力して生産改革を推進、利益を確保。

■08/6期下期からの重点施策

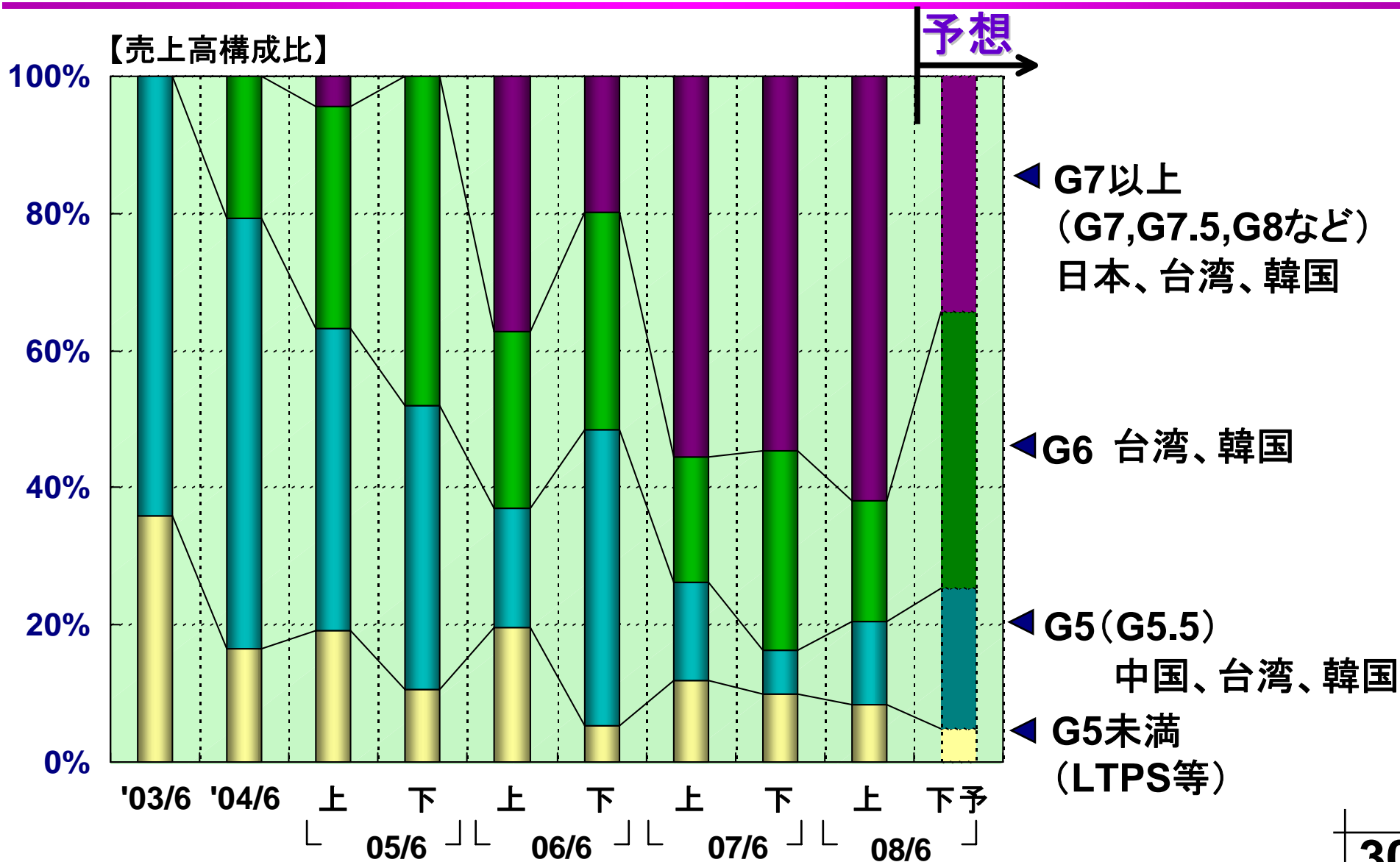
- ▶生産改革の推進、コストダウン、追加原価削減などで、中長期的に利益率向上の施策を実施。
- ▶投資を継続しながら、キャッシュ・フローの改善を図る。

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました

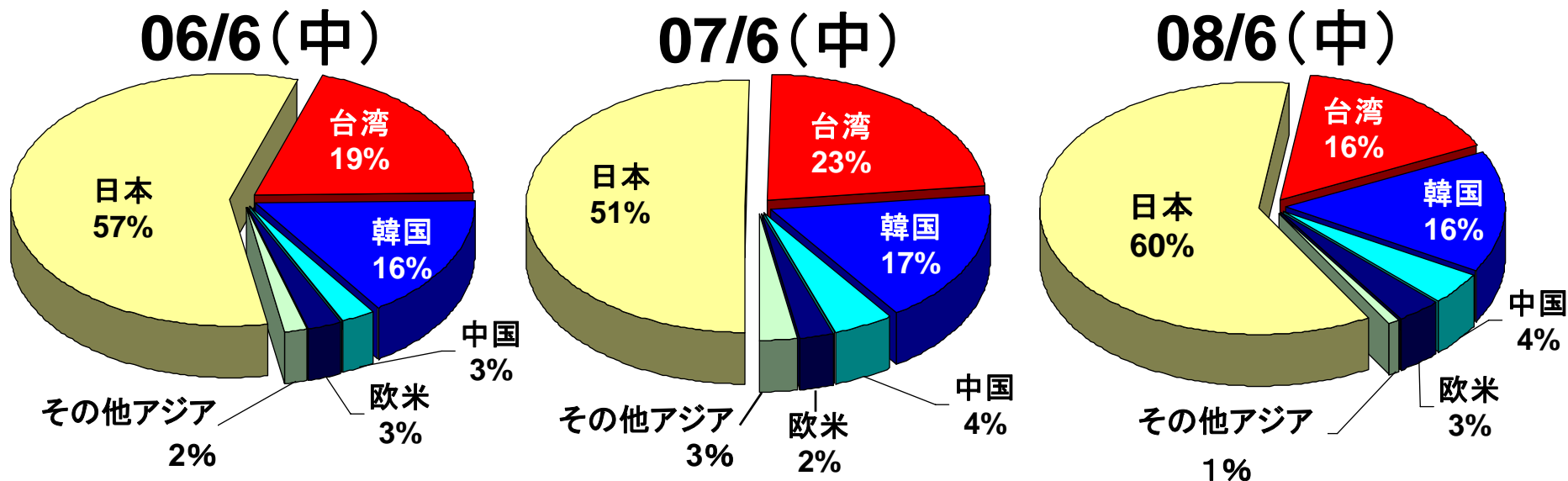
液晶ディスプレイ製造装置世代の推移・予想

添付資料



地域別売上高構成比の推移

添付資料



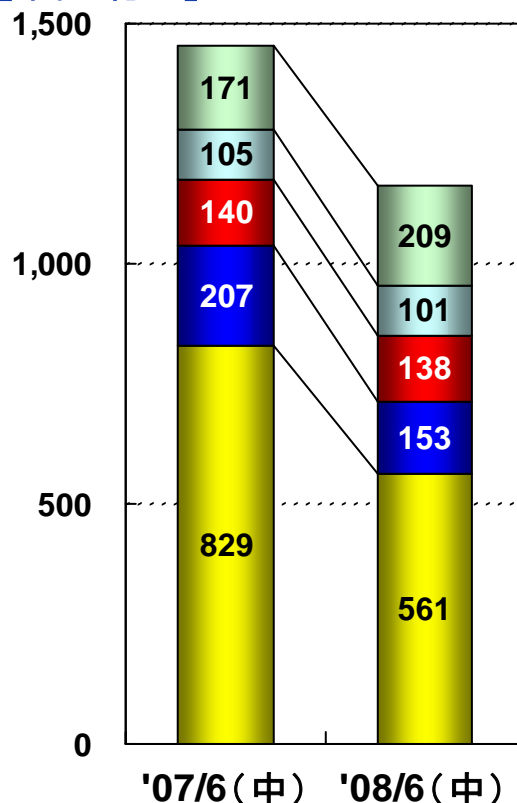
【単位:億円】

地 域	06/6 (中)	07/6 (中)	08/6 (中)
日 本	553	609	707
台 湾	190	277	182
韓 国	151	210	182
中 国	25	54	47
その他アジア	15	34	11
欧米他	24	29	38
合 計	958	1,213	1,167

注)百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

品目別受注高の実績

【単位:億円】



注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

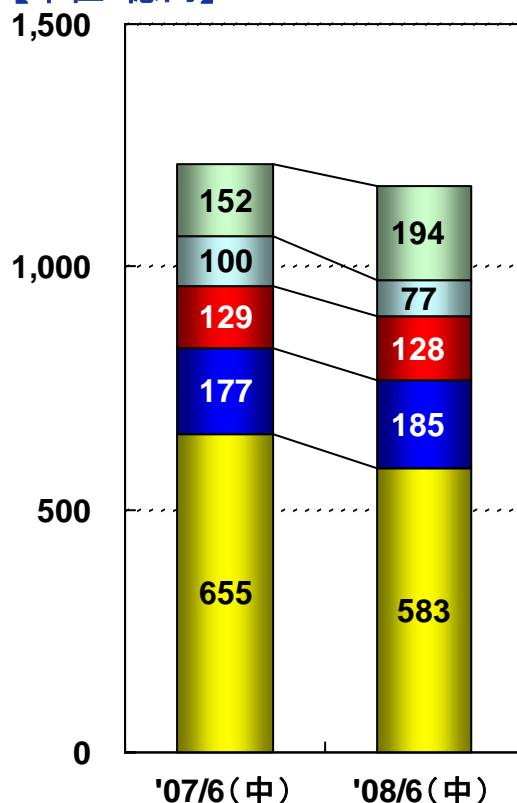
品目	背景
その他の事業	FPDの大型化などでターゲット材料、部品洗浄が増加。制御システムは金属関連、自動車関連で堅調。
その他	エネルギー・環境関連の熱処理炉やデジタル家電関連の需要増で引き合いが増加。
コンポーネント	FPD関連設備投資減速の影響でドライポンプが減少。一般産業分野の真空ポンプ、計測器は堅調。
半導体製造装置	フラッシュメモリ、DRAMの価格下落により、調整局面に入り、受注減。LEDやパワー半導体などエネルギー・デバイスの設備投資が開始。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	日本、韓国、台湾の液晶メーカーで延期されていた設備投資が急回復したが、一部、下期にシフト。エネルギー・環境関連の薄膜太陽電池需要が世界規模で増加。一貫ラインの受注開始。

【単位:億円】

品目	07/6 (中)		08/6 (中)		
	受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	829	57%	561	48%	-32%
半導体製造装置	207	14%	153	13%	-26%
コンポーネント	140	10%	138	12%	-2%
その他	105	7%	101	9%	-3%
その他の事業	171	12%	209	18%	22%
合計	1,452	—	1,162	—	-20%

品目別売上高の実績

【単位:億円】



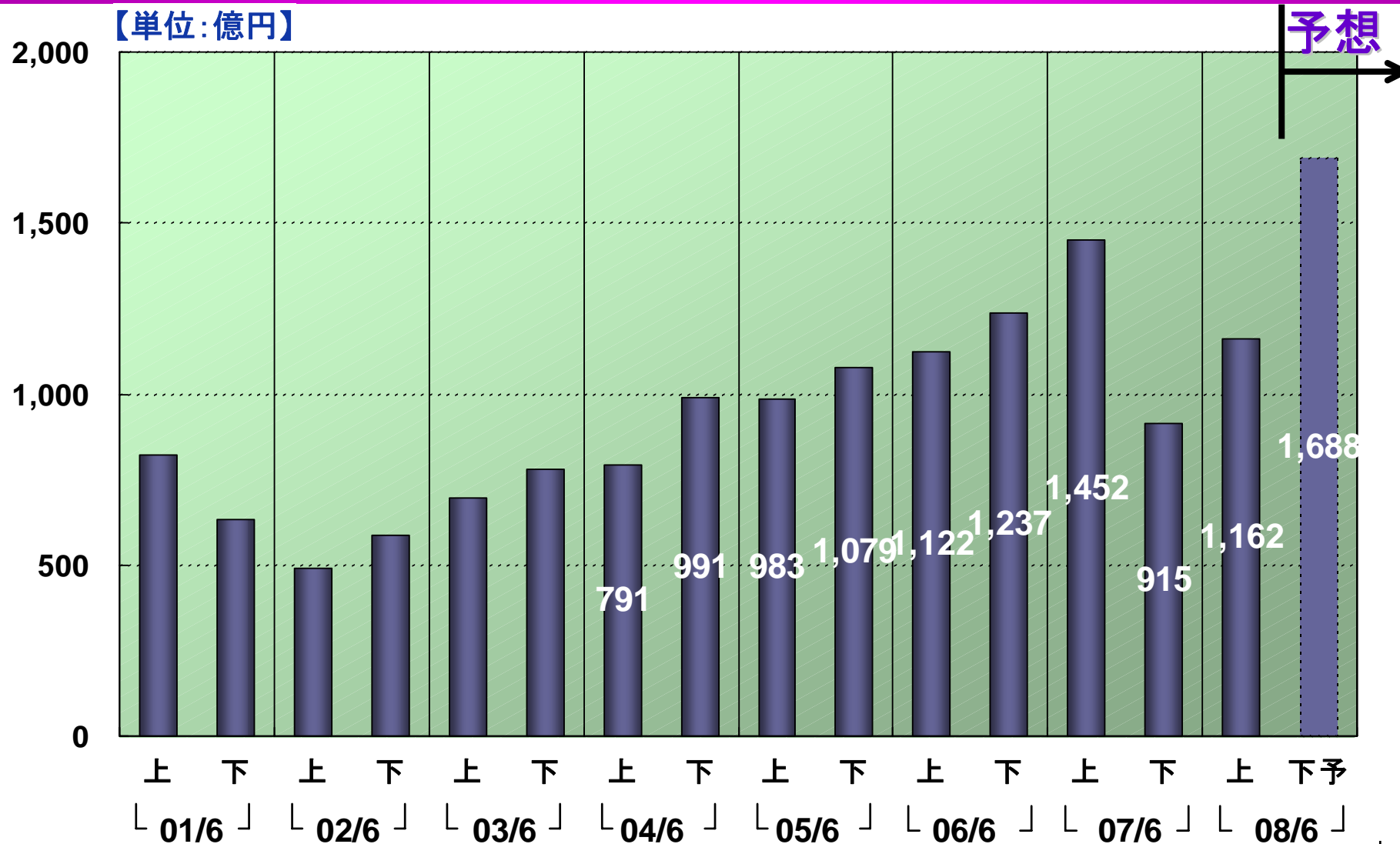
注)
記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目	背景
その他の事業	FPDの大型化などでターゲット材料、部品洗浄の増加。制御システム、表面解析関連の一部が下期に期ずれ。
その他	エネルギー・環境関連の自動車部品向け熱処理炉や巻取式成膜装置などが、下期に期ずれで売上減少。
コンポーネント	FPD関連設備投資減速の影響でドライポンプが減少。一般産業分野の真空ポンプ、計測器は堅調。
半導体製造装置	デジタル家電関連の需要増で、フラッシュメモリ、DRAM関連のスパッタ、自然酸化膜除去装置が大幅増。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	韓国、台湾の液晶メーカーの生産調整による設備投資計画の一部延期があり減少。太陽電池の投資が開始。

【単位:億円】

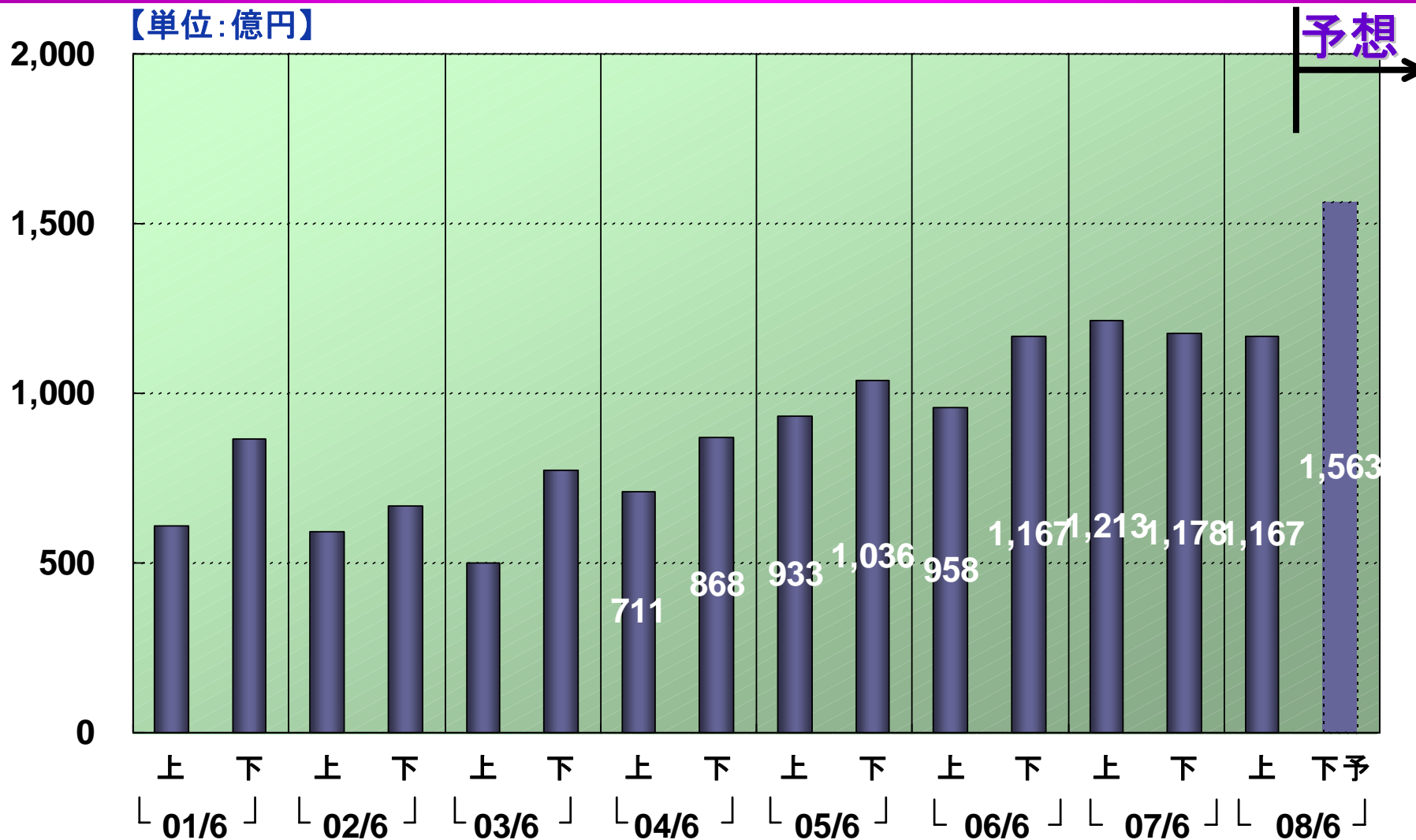
品目	07/6(中)		08/6(中)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	655	54%	583	50%	-11%
半導体製造装置	177	15%	185	16%	5%
コンポーネント	129	11%	128	11%	-1%
その他	100	8%	77	6%	-23%
その他の事業	152	12%	194	17%	28%
合計	1,213	—	1,167	—	-4%

受注高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

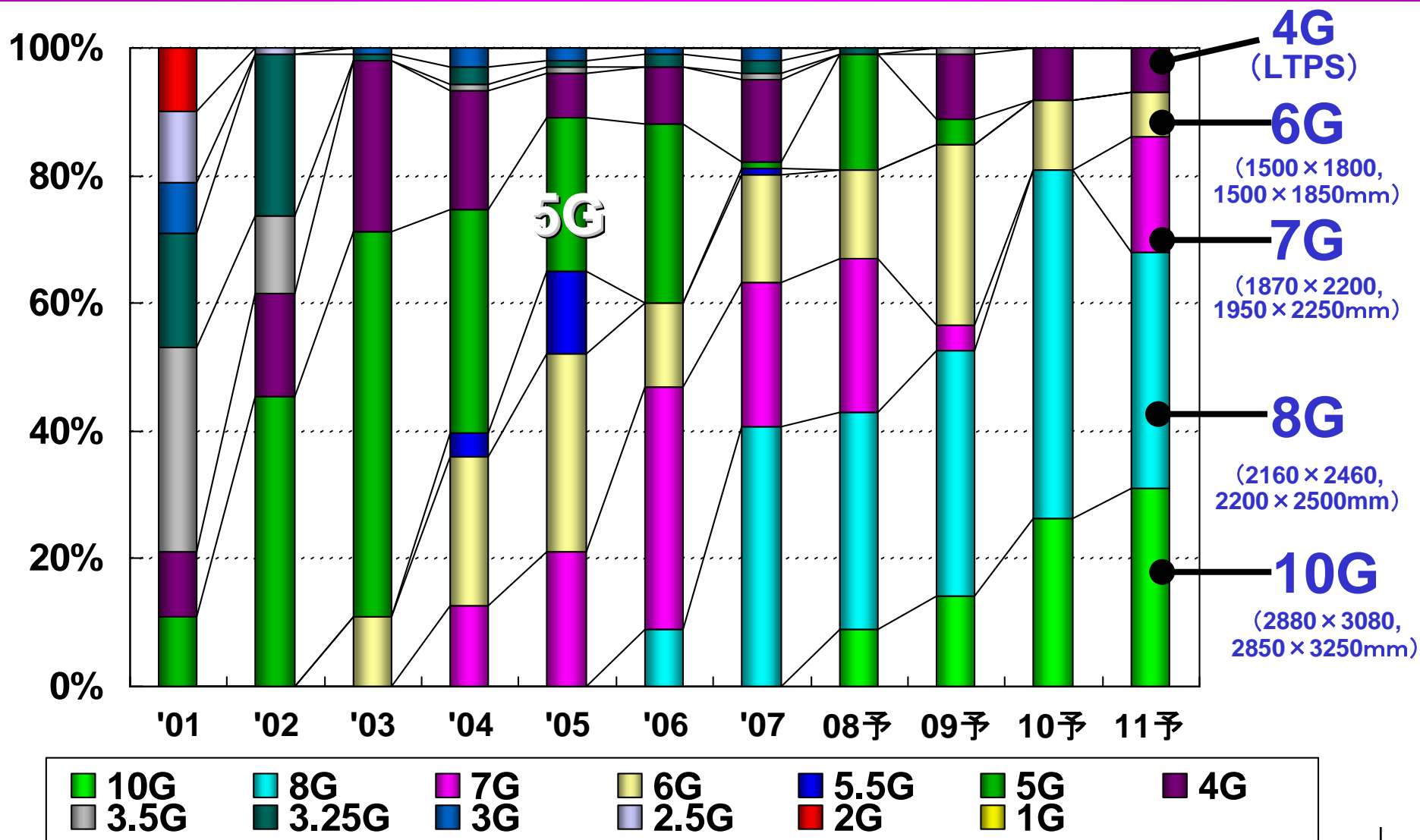
売上高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

液晶ディスプレイ世代別投資

参考資料



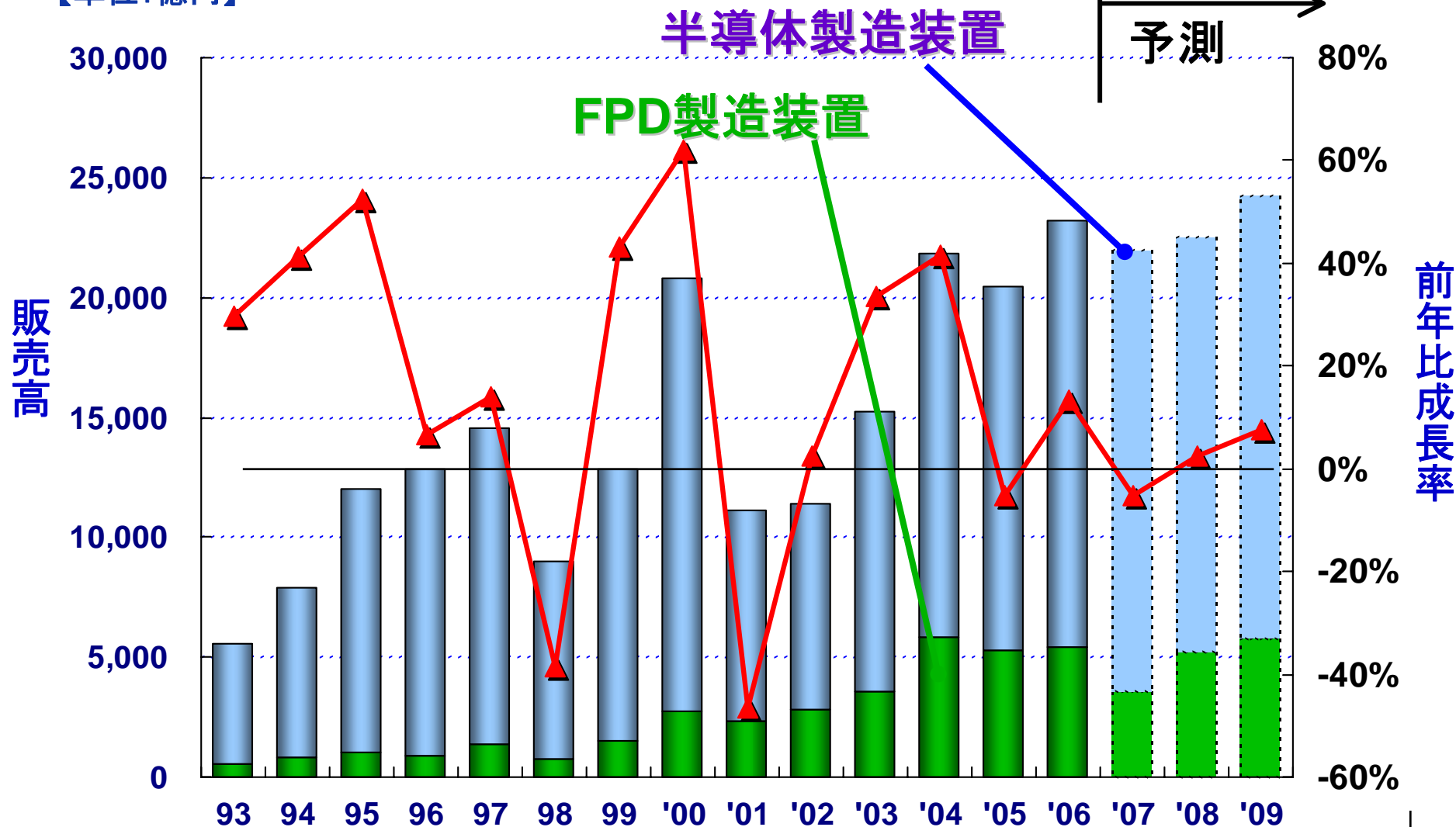
【出所:2008年1月
The 14th DisplaySearch Japan Forum】

半導体およびFPD製造装置予測

参考資料

【単位：億円】

＜日本製装置販売高予測＞



【出所:2008年1月 SEAJ】

(販売高: 日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC